

2024年12月16日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：経営企画室長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

マイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置 「WTS-CT130」のリリースと販売開始のお知らせ

この度、ウインテスト株式会社（横浜市西区）は、イメージセンサーテストシステム開発で培った画像処理技術及び検査技術を生かし、コンパクトなマイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置「WTS-CT130」を外部協力企業と共同で開発し、2024年12月より正式にリリースと販売開始することを決定しました。

WTS-CT130は、密閉された検査ボックス内にX線発生装置を装備し検査対象物を360度回転させX線による断層撮影によって対象物の非破壊検査を実現します。

1. 「X線照射3D断層撮影検査」について

X線照射3D断層撮影装置は、X線を使用し、対象物の断面画像や立体像を得る装置です。多方向からX線を照射し、撮影した画像をコンピュータで解析することで、立体的（3D）なX線像を生成します。X線の特長として、複雑な部位も高精度でスキャンでき、光沢のある素材や透明な素材でも3Dデータが取得可能です。そのため、透明樹脂で作られた製品や光沢のある金属製品の計測・データ解析にも利用されています。

2. WTS-CT130の特徴

大型高価格となりがちなX線照射断層撮影装置ですが、WTS-CT130は、コンパクトで高速・高解像度（10 μ m）を実現したマイクロCT装置となります。また被対象物を360度回転させることでより正確な3D断層撮影を実現、直感的なユーザーインターフェース（ユーザーが使う操作画面）や、130kV高X線エネルギー対応で、49.8 μ m高精度CMOS平板探測器を用い画質の向上を図っています。完全鉛遮蔽版密閉方式を取っており、漏洩X線量は1 μ シーベルト以下であるため、オペレータは防護服を必要としません。

3. 業績に与える影響について

今期通期業績への影響は、特にございませんが、来期以降の業績への影響について、現在精査中です。明確になり次第お知らせいたします。

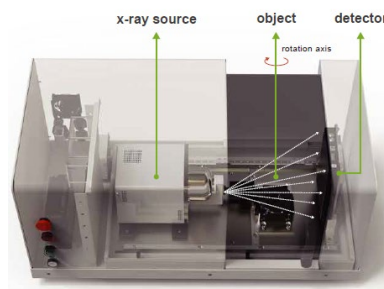
※本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、諸般の事情により予告なく変更されることがあります。

以上

WTS-CT130のご紹介

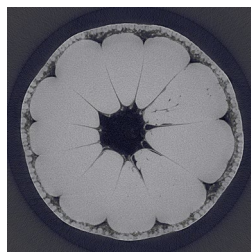
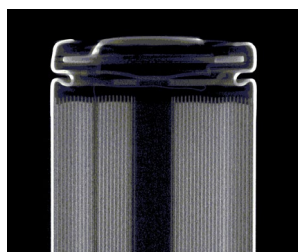


X線3D断層装置概観



内部図

撮影画像の一例



マイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置

主要諸元：

| | |
|--------------|---|
| 解像度 | マイクロフォーカス、最小フォーカス $5\mu\text{m}$ 、CT最小Voxel： $10\mu\text{m}$ (Voxelとは、CT画像を構成する最小の単位最小構成要素) |
| 低維持費 | 密閉管方式の為メンテナンスフリーを実現 |
| 高性能 | 130kV高X線エネルギー対応、 $49.8\mu\text{m}$ 高精度CMOSセンサーを使用 |
| 撮影角度/範囲 | 360° / $70\text{mm} \times 70\text{mm} \times 75\text{mm}$ |
| サイズ | $1020\text{mm}(\text{D}) \times 540\text{mm}(\text{H}) \times 582\text{mm}(\text{W})$ 重量305kg |
| X線自己遮蔽型 | X線自己遮蔽方式 漏洩放射線量 $1\mu\text{Sv/h}$ 未満 (100ミリシーベルト以下の放射線を受けた場合、人体への影響は確認されていません。ミリは、マイクロの1,000倍になります) |
| 測定可能 対象物例 | 半導体部品/電池/植物/アルミ製品/ゴム系/プラスチック部品/建設材料など |

以上